

操南認定こども園整備に関わる要望点

令和2年4月5日

1. 園内整備に関する事項

① 災害発生時の児童の避難通路・場所の確保

現在は隣接する操南小学校へ歩いて避難、待ち受けた小学生の誘導により上の階へ避難する。保育児童も加わることに留意する。建屋の高層化（3階以上）が必要。

② 自然観察のできる園庭を残す

ジャコウアゲハ（絶滅危惧種）の飛び交う園庭は北側フェンスに沿って育成されたウマノスズクサがあって守られている。またウサギの飼育を通じて園児は命の尊さを学んできた。加えて計画的に植樹されてきた樹木の保存も考慮頂きたい。

③ 駐車・駐輪場の借り上げ

工事中、工事完成後も駐車・駐輪場の借り上げが必要である。現在園庭の一部及び路上を使用しているが工事中の安全確保、完成後の職員・父兄の増加も考慮するとパーキングエリアの拡張が必要となる。

④ 付帯設備として倉庫を確保する

各種催ものに使用する道具、畑の耕作用具等の収納倉庫として組み立て倉庫等を使用している。

2. 工事施工時の安全確保に関する事項

① 幼稚園の東側に隣接する私道の整備

側溝蓋の一部破損があり工事車両の通行に危険が伴う。側溝の改修、舗装面も含めた将来の維持管理は岡山市に依頼したい。

② 工事中の安全確保のために施工業者の安全管理の徹底、適正な警備員配置をお願いする。

③ 操南小学校東の交差点・南北車両信号を感知式に変更

現在は東西が常時青信号、南北は歩行者がボタンを押した時にのみ青信号となる。南北車両走行が円滑となりより安全性が確保される。（南北車両信号はなしの現状）

④ 幼稚園の東側隣接道路から県道へ出る三差路に一時停止の白線を引く

県道215号の両側に歩道があり通学路となっている。幼稚園に出入りする車両の安全確保上一時停止線引きを要望する。

以上

操南幼稚園運営協議会

会長 毛利 啓介